

航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 次の記述は、電波法の目的である。□ 内に入るべき字句を下の番号から選べ。

この法律は、電波の公平かつ □ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。

- 1 能動的
- 2 積極的
- 3 能率的
- 4 経済的

〔2〕 航空機用救命無線機の一般的条件として無線設備規則に規定されていないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 航空機に固定され、容易に取り外せないものを除き、小型かつ軽量であって、一人で容易に持ち運びができること。
- 2 電源は、人体に危害を及ぼさないように適切にしゃへいしてあること。
- 3 海面に浮き、横転した場合に復元すること、救命浮機等に係留することができること（救助のため海面で使用するものに限る。）。
- 4 筐体に黄色又は橙色の彩色が施されていること。

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、航空機局（航空運送事業の用に供する航空機のものを除く。）の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 100ワット
- 2 50ワット
- 3 10ワット
- 4 5ワット

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 2 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 3 電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
- 4 免許証を失ったとき。

〔5〕 無線局の免許人は、電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その無線局の免許人にその旨を通知する。
- 2 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 3 その無線局の電波の発射を停止させる。
- 4 その無線局の免許人を告発する。

〔6〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 2 直ちに廃棄する。
- 3 2年間保管する。
- 4 1箇月以内に総務大臣に返納する。

航空特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、航空移動業務の無線電話通信における呼出事項を掲げたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- ① 相手局の呼出符号又は呼出名称 3回以下
② 自局の呼出符号又は呼出名称

- 1 1回
- 2 2回
- 3 2回以下
- 4 3回以下

〔8〕 遭難航空機局が遭難通信に使用する電波に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 遭難航空機局は、F 3 E電波 1 5 6 . 8 M H z を使用することができる。
- 2 遭難航空機局は、責任航空局から指示されている電波がある場合にあっては、当該電波を使用する。
- 3 遭難航空機局は、責任航空局から指示されている電波がない場合には、航空機局と航空局との間の通信に使用するためにあらかじめ定められている電波を使用する。
- 4 遭難航空機局は、遭難通信を開始した後は、いかなる場合であっても、使用している電波を変更してはならない。

〔9〕 遭難航空機局が遭難通報を送信する場合の送信事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 遭難した航空機の識別又は遭難航空機局の呼出符号若しくは呼出名称
- 2 遭難した航空機の乗員の氏名
- 3 遭難した航空機の位置、高度及び針路
- 4 遭難の種類及び遭難した航空機の機長のところとする措置

〔10〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出符号又は呼出名称が不確実であるときは、応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称の代わりにどの略語を使用して直ちに応答しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 反復
- 2 貴局名は何ですか
- 3 誰かこちらを呼びましたか
- 4 各局

〔11〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信することができない事由があるときに応答事項の次に送信することになっている事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 「お待ちください」及び通報を受信することができない理由
- 2 「お待ちください」及び分で表す概略の待つべき時間
- 3 「どうぞ」及び通報を受信することができない理由
- 4 「どうぞ」及び分で表す概略の待つべき時間

〔12〕 航空移動業務の無線局が無線電話通信において、無線機器の試験又は調整のため電波を発射するときの「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出符号又は呼出名称の送信は、何秒間を超えてはならないか。次のうちから選べ。

- 1 1 0 秒間
- 2 3 0 秒間
- 3 5 0 秒間
- 4 6 0 秒間